

県中農林ニュース

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま



【ジュピアランドひらたの芝桜】

～特集～

第 28 号（令和 4 年 5 月 31 日発行）

～目次～

○特集	P. 1
○農林業関係の動き	P. 2-4
○頑張る農林業者	P. 5
○GAP取得者紹介	P. 5
○転入幹部紹介	P. 6-7
○お知らせ	P. 8

編集・発行 福島県県中農林事務所

豊かなむらづくり顕彰事業受賞者を御紹介します！ 【企画部】

県では、「豊かなむらづくり顕彰事業」として、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な業績を収めている団体等を表彰しています。

40 回目となる今回は、本年 1 月 21 日、福島市（杉妻会館）において表彰式が行われ、むらづくり部門 2 団体、農業生産部門 4 団体が表彰されました。管内からは農業生産部門で須賀川市の「株式会社 新須賀川農産」が受賞しました。

【株式会社 新須賀川農産（須賀川市）】

「株式会社 新須賀川農産」は平成 18 年に須賀川市山寺地区内の若手農業者 12 名により稲作機械等の共同利用や作業受託に取り組む農業法人として設立されました。平成 19 年にはライスセンターを整備し、各構成員の稲作にかかる経費や作業負担を軽減することで、それぞれが経営する園芸品目等（きゅうり、ユキヤナギ、なし及び大豆）の作業に注力できるようになり、規模拡大や収量・品質の向上が図られています。

また、県酒造組合と結びついた酒造向けの加工用米（品種：チョニシキ）を作付けし安定した経営を行い、水利の悪い水田には大豆の作付けを行うなど、遊休農地の発生防止に努めています。

さらに、新須賀川農産は経営を拡大し他地区での借地や作業受託を増やしていく中で、農地の担い手として認められるようになり、須賀川市山寺地区以外の 3 地区でも人・農地プランの中心経営体と位置づけされているほか、地元の小学生を対象として田植えや稲刈り体験等を行い、食農教育に取り組むなど地域活性化にも貢献しています。

今回の受賞を機に、今後ますますの御活躍を期待いたします。



【新須賀川農産代表者（両端）と知事、福島民友新聞社長】

～農林業関係の動き（トピックス）～

鳥獣被害対策モデル集落实績検討会開催される！ 【田村農業普及所】

3月10日、田村市都路地区の合子地区で鳥獣被害対策モデル集落实績検討会が開催されました。担当者から令和元年度から3年度における被害防止に向けた活動の実績について説明があり、実証設置したロールメッシュ柵は丁寧に管理され、イノシシに対する防除効果が見られていること、また集落のイノシシは9、10、11月の出没が多く、この時期の電気柵の適切な管理が重要になることについて確認されました。

地域住民からは、「ロールメッシュ柵はワイヤーメッシュ柵よりも設置が効率的で、掘り起こし防止効果も高い。」といった評価をいただき、住民の対策に関する前向きな考え方もうかがえました。

今後は、営農再開支援事業を活用してロールメッシュ柵の設置を進めていくこととなりました。



【活動実績を説明する担当者の小松技師】

復興再生事業3地区の幹線水路改修工事が完了しました！ 【農村整備部】

復興再生基盤整備事業「新安積（二期）地区」（須賀川市）、「越久地区」（須賀川市）、「岩根地区」（本宮市）の3地区の、年数の経過に伴い老朽化が著しかった農業用の幹線水路について、平成23年度から計画的に工事を実施してきました。令和4年3月、3地区併せて約8.4kmの水路改修やパイプライン更新工事が終了し、試験通水の結果も問題がないことが確認され、令和4年度の作付けに向け用水が供給されました。

これまでは、漏水等、機能が低下していた施設を使用していましたが、工事後は、安全性の向上や用水の安定供給と維持管理の軽減が図られ、地域農業の持続と発展につながる施設として再生されました。



新安積（二期）地区
【水路改修後の通水】



越久地区
【強化プラスチック管への更新状況】



岩根地区
【水路橋から铸铁管への更新状況】

林業アカデミーふくしま「就業前長期研修」が開講しました！ 【林業研究センター】

林業アカデミーふくしま就業前長期研修開講式並びに令和4年度入講式が、^{うちぼり}内堀知事と^{わたなべよしのぶ}渡辺義信県議会議長の出席のもと、4月8日林業研究センターで行われ、1年間の研修に胸を膨らませた第1期生14名が入講されました。

知事からは「塔を組むには木を組み、木を組むには木の癖を組み、木の癖を組むには人を組み、人を組むには人の心を組み」という法隆寺宮大工の^{にしおかつねかず}西岡常一氏の言葉を例に、1人1人の心を合わせた研修生活への励ましの言葉がありました。さらに研修生誓い^{いけだゆい}の言葉として、代表の池田結さんから、「この恵まれた環境で養う高い専門性を活かし、社会に貢献することがこのアカデミーに集う者の使命である」と、研修生活への決意表明があり、来年3月までの充実した研修がスタートしました。



〔 第1期生14名が入講しました
内堀知事と渡辺義信県議会議長(前列右から3番目と4番目) 〕

令和4年度JA夢みなみ園芸振興大会が開催されました！

【農業振興普及部、須賀川農業普及所】

4月19日に、令和元年度以来3年ぶりとなるJA夢みなみ園芸振興大会が開催されました。園芸品目の令和6年度目標販売額59.5億円へ向けたJA夢みなみの振興対策等を、生産者、市場及び行政関係者で共有し、連携していくことを確認しました。

また、各地区内において最も優秀な販売実績を上げられた方に対し福島県知事賞が授与され、管内では^{こぼやしのりお}小林則雄氏(すかがわ地区)と^{ねもとつねかず}根本常和氏(いしかわ地区)が受賞されました。

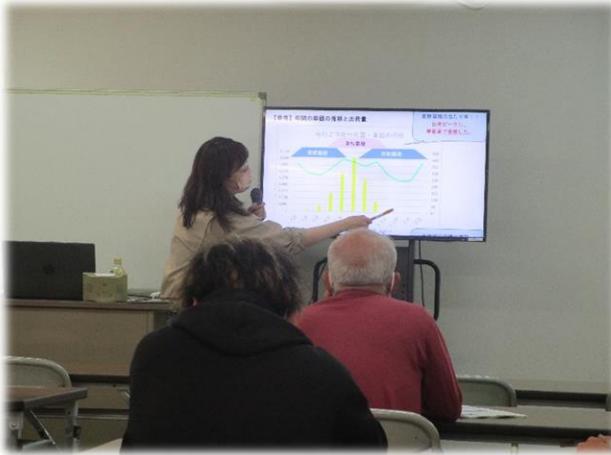
農林事務所においても、先端技術の普及や園芸施設導入への支援等を関係者とともに進め、さらなる園芸産地の発展を図ってまいります。



【県知事賞の授与の様子】

きゅうりの新規栽培者等を対象とした研修会を開催しています！ 【須賀川農業普及所】

須賀川農業普及所では、きゅうりの栽培経験が浅い生産者等を対象とした「きゅうり基礎力アップ研修会」を開催しています。4月27日の第1回研修会には、12名が出席され、きゅうりの特性や定植までの管理について講義を行いました。講義の中では、ベテラン生産者のほ場準備や苗管理、定植作業の動画を見てもらいながら、作業のポイントや注意点などを説明したことで、理解を深めてもらうことができました。第2回以降の研修会では、ベテラン生産者ほ場での現地研修や個別の巡回指導も行いながら、基礎力アップにつながるよう支援を行うこととしています。



【パワーポイントを用いて講義】



【研修会の様子】

広葉樹林の再生を進めています！ 【森林林業部】

管内で実施している「広葉樹林再生事業」について御紹介します。かつて、当管内を含めた福島県の阿武隈高地は、全国有数のしいたけ原木の産地でした。しかし、東京電力福島第一原発事故に伴う放射性物質の影響により、事故から11年を経過した現在も原木が出荷できない状況が続いています。そうした中、森林・林業の再生を通じた被災地の復興を目的とした「広葉樹林再生事業」が始まり、管内では、令和2年度からほだ木等原木林の再生に取り組んでいるところです。令和4年度は、4市町村と1森林組合が事業実施を予定しており、そのうち田村市都路町では、管内全体の50%以上となる約20ヘクタールを整備する予定です。

令和4年4月下旬、令和2年度に実施した田村市都路町の杉内地区で、切り株からたくさんの芽（萌芽と言います。）が元気に伸びている様子が確認できました。今後は、20年後のしいたけ原木の出荷を目指して、伸びた芽や土壌に含まれる放射性物質の濃度を定期的に計測する予定です。これからも広葉樹林の再生を進めてまいりますので御協力をお願いします。



【切り株から伸びた萌芽の様子】
※将来の良好な生育のため、萌芽を間引いています。

～頑張る農林業者～

こばやし かずあき
☆小林 一聡さん(石川町)☆

【須賀川農業普及所】

小林さんは、平成27年に就農し、令和2年度から認定農業者となりました。水稻種子の生産を含め水稻10ha、ニラ25a、ブロッコリーやトウモロコシを生産しています。また、令和3年度より青年農業士を務めており、地域の頼れる若い担い手です。

また、FGAPを新規で取得し、令和4年度より福島県オリジナル水稻品種の「福、笑い」の生産に取り組んでいます。石川郡では初の「福、笑い」生産者となり、地域の農業を盛り上げています。GAPの取得やブランド米生産に取り組むことで、若い世代に少しでも農業に興味を持ってもらいたいという小林さんの熱い想いを、今後とも普及所は応援してまいります！



【「福、笑い」育苗ハウスにて】



【「福、笑い」田植え】

GAP取得者紹介

令和4年4月11日に、郡山市の濱尾勝徳さんはま おかつのり親子と松井弘信さんまついひろのぶに対し、大波県中農林事務所長おおなみからFGAPの認証書が交付されました。



【濱尾勝徳さん(中央)と長男の尚輝さん(右)】

- ①濱尾勝徳さん(郡山市)
- ②FGAP(米)
- ③「作業内容の記録により就農した息子への農作業の継承にも役立ち、消費者に選ばれる米づくりを行っていきたい。」



【松井弘信さん】

- ①松井弘信さん(郡山市)
- ②FGAP(米、野菜(きゅうり、ニラ))
- ③「GAP認証を受けることで、娘が美味しいと食べてくれる安全な農産物を消費者のみなさんにもお届けしたい。」

- ①氏名(市町村)
- ②GAPの種類(取得した品目)
- ③取得者から一言

【GAPの種類】

GLOBAL G. A. P. : 国際的に広く適用する第三者認証GAP
 ASIAGAP : 日本発の国際基準認証
 JGAP : 日本のデファクトスタンダードのGAP
 FGAP : 福島県が創設した公的認証GAP

～新任幹部職員のご紹介～

今年4月に当所配属となった
新任幹部職員をご紹介します。

【 県中農林事務所長 おおなみ つねあき 大波 恒昭 】



今春の人事異動により、相双農林事務所長から県中農林事務所長に着任しました大波恒昭と申します。「県中」地域は初めての勤務となりますので、ワクワク感でいっぱいです。

さて、東日本大震災及び原子力事故から11年目となりました。県中地域は、当初、避難指示区域はありましたが、現在ではほぼ震災前のような普通の営農状況が戻りつつあります。

私は、本年度、当所の業務遂行目標として、

- ①農林業を担う多様な“ひとづくり”
- ②米やキュウリ、トマト、日本梨などの産地振興と原木シイタケ産地の復活
- ③「阿武隈川上流遊水池群整備事業」への対応

の3本の大きな柱を掲げ、所員総勢140名の力を合わせて、各種の取り組みを進めてまいり所存です。

本ニュースをご覧いただいている皆様、本年度も県中農林事務所を何卒、よろしくお願い申し上げます。

【 県中農林事務所次長兼総務部長 じゅうにしよ けん 十二所 謙 】

このたび、次長に着任しました十二所謙と申します。

かつて県上海事務所に駐在していた時のエピソードを紹介いたします。上海の自由市場には色鮮やかな野菜や果物が驚くべき安さで売られていました。しかし、口にすると何の味も香りもしないのは許容範囲、時にはドブ臭いキュウリやスイカを買ったこともあります。このため、庶民は調理前に野菜を水につけて農薬を落とす、生野菜では食べない、香辛料で味を調えるなどの対策を取っていました。

いま、県内で生活し、県産の安全でおいしい米、野菜、果物、林産物をいただけるという感謝の念を一層強くし、県民の暮らしを支える管内の農林業と農山村の発展に尽力してまいります。



【 農業振興普及部長 はんざわ しんじ 半沢 伸治 】



このたびの人事異動により、農業振興普及部長として着任しました半沢伸治と申します。

県中地方での勤務は、郡山市富田町にあった旧農業試験場に新採用時から5年間と、農業総合センターが郡山市日和田町に開所した平成18年から4年間おりましたので、それ以来の3度目となります。

県中地方は、郡山市などの消費地を抱えるとともに交通の要所であることなどから、工夫を凝らした特色ある農畜産業を営む元気な生産者が多い印象がある一方で、次世代の担い手の確保と多様な消費者ニーズに対応した生産体制の構築は、他地域と同様に喫緊の課題となっています。

当地域の農畜産業のさらなる発展のため、震災から10年を機に策定した県スローガン「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」の理念を胸に、関係する皆さんと一緒に、ひとつひとつ精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

【 農業整備部長 いわさわ としあき 岩沢 利明 】

4月の人事異動により、農村整備部長に着任しました岩沢利明と申します。県中農林の勤務は2回目となりますが、1回目の勤務では県中・県南管内に甚大な被害を及ぼした平成10年豪雨災害の災害復旧事業を担当しておりました。

東日本大震災・原発事故から11年が経過し、当管内では農地・農業用施設の復旧を完了したものの、令和元年の台風19号災害や2年続いて県内で震度6強を観測した福島県沖地震等、いつ災害が発生してもおかしくない不安定な状況が続いています。

今年度より新しい「福島県農林水産業振興計画」が策定されましたが、藤沼ダムが決壊し尊い命が奪われ、多くの方に被害を及ぼした事実を忘れることなく、当管内の防災重点農業用ため池の防災対策を計画的に推進して参ります。



【 森林林業部長 すずき ちあき 鈴木 千秋 】



この4月に森林林業部長として着任いたしました鈴木千秋と申します。県中地方は2回目で17年ぶりの勤務となりますが、当時とあまり変わらない「趣の強い」庁舎に感銘しているところです。

現場に出かけてみると、東の田村市都路町や小野町、古殿町と西の郡山市湖南町や天栄村では気候や地形が全く違うだけでなく、東の阿武隈山地に降った雨は夏井川などから太平洋、西の奥羽山系は阿賀川から日本海に注ぐという県内で他にはない特徴があり、その区域の広さと多様性に改めて気づかされます。このそれぞれの地域の特徴を大事にしながら、しいたけ原木林等広葉樹林再生や林業担い手確保などに引き続き取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【 須賀川農業普及所長 おおはし かねみつ 大橋 金光 】

このたび、須賀川農業普及所長に着任しました、大橋金光と申します。

普及一筋で、須賀川・石川地域は、初めての勤務となります。

管内の農業は、米、園芸作物、畜産など多彩な特徴を持っています。これまで先人が築き上げた地域農業のさらなる発展に向け「ひとづくり・ものづくり・地域づくり」の視点をもって、農業者並びに関係機関・団体の皆様とともに、担い手の確保・育成を基軸に生産体制の維持強化を整え、地域ならではの条件を活かした魅力発信で、お役に立てるよう取り組んで参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

今年もまた、きゅうり基礎力アップ研修会が、始まりました。地域を代表する品目の一つきゅうりを揺るぎない産地として未来につなぐため担い手をしっかりと育てていきます。



～お知らせ～

郡山市産おおばぎぼうし（うるい）（野生）の出荷自粛解除 【森林林業部】

郡山市で産出されたおおばぎぼうし（うるい）（野生）の出荷自粛が令和4年3月24日に解除されました。

なお、郡山市産のおおばぎぼうし（うるい）（野生）の出荷を希望する生産者については、生産者台帳に登録し、県のモニタリング検査を受ける必要があるため、下記まで連絡をお願いします。

県中農林事務所森林林業部林業課 電話 024-935-1367



【おおばぎぼうし(うるい)】

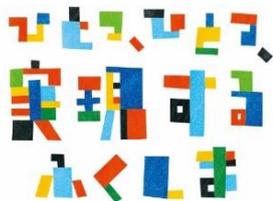
きのこ、山菜の出荷制限等について 【森林林業部】

県中地域産の次のきのこ及び山菜については、モニタリング検査の結果、食品衛生法の基準値（100ベクレル/kg）を上回る放射性物質が検出され、国から出荷制限等が指示されていますので、出荷しないでください。（令和4年5月10日現在）

品 目	制限内容	市 町 村
野生きのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
こしあぶら	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
原木しいたけ（露地）	出荷制限	田村市（福島第一原子力発電所から20km圏内の地域に限る）
ぜんまい	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市
うど（野生）	出荷制限	須賀川市
うわばみそう（野生）	出荷制限	須賀川市
たらのめ（野生）	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、古殿町
くさそてつ（こごみ）	出荷制限	郡山市、田村市、三春町
たけのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、天栄村、三春町
ふき（野生）	出荷制限	天栄村

※出荷制限品目等については最新の情報を確認してください。

※野生の山菜・きのこ・樹実類及び栽培わらびを出荷できる地域において、出荷をされる場合は事前に生産者登録する必要がありますので、森林林業部林業課にご連絡ください。



お問合せはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

